

帶之上洛、其狀云、○中

捧一通奏狀令達天聽者有理事裁許何拘乎委細之旨不遑筆端就中今年相當三合之曆運可勵攘災祈請之處以小成大與心事發即自吾山致騷動之條若是僧徒小德行將又因果之所致歟凡可謂逆徒矣、○中略

建久二年五月三日

賴朝

進上 高三位殿

〔吾妻鏡脫漏〕嘉祿三年○丁亥貞元 二月八日戊子、今年相當中終三合之上、日來天地變異重疊云云、依爲年始而天文道各不申子細、今日云彼云是捧勘文後藤左衛門尉基綱傳達之、進士判官代隆邦於御前讀申云云、

〔梅園日記〕當梁年

結粧錄云、百練抄ニ梁年ノ字アリ、何ナルコト知レ難シ、某入道公隋書ヲ閱シ玉フニ、梁年ハ酉年ナリト有ル由、或人云、東方蒼龍箕星、一名梁星ト云、本邦ノ故事ニ、歲酉ニアレバ、宮室ヲ營造セズトナリ、○中略 按するに、正史の隋書中に、梁年は酉なるよしをいはず、隋の書といふことにや、隋人蕭吉が五行大義に、右白虎大梁之文とあり、右白虎は西方にて酉なり、但百練抄の文を、梁年に當るとよみしは非也、當梁年とよむべし、さて當梁年は、なべての酉にはあらず、己酉也、○中略百練抄なる又己酉のみにもあらず、戊子、己卯、戊午も當梁なり、其事は日法雜書云、犯土、造作凶事、戊子、己卯、戊午、己酉、名當梁、餘子、午、卯、凡天地梁柱及當梁年忌、正堂正寢上梁堅柱、餘屋舍無忌、出新陽書撰とあるにて明らか也。

〔百練抄〕五  
後三條延久元年○己酉二月十日、依當梁年、今年不可作内裏之由被定之、諸道勘申、

〔左經記〕長元元年○戊七月十九日壬子、大外記賴隆真人令余經賴申、關白殿○藤原云、近來高陽院